

## 「創立150周年を迎えて」

第21代公立豊岡病院 病院長 三輪 聡一

豊岡病院は今年、創立 150 周年を迎えました。これは 150 年の長きにわたる先人の取り組み、また地域・住民の方々のご支援の賜物と厚くお礼申し上げます。

今から150年前「廃藩置県」が行われた明治4年(西暦1871年)、豊岡町小田井に医局が開設されたのが豊岡病院の始まりです。  
明治4年の豊岡県医局開設布告文を紹介します。

本縣下ハ山陰山僻ナレバ  
常ニ世風ニ後レ  
文明ノ氣運ヲ吸收スル能ハズ  
不幸疾病ニ罹ルトキハ  
是ヲ保護スル衛生行届カズ  
非命ニ死スモノ不勘  
誠ニ愍然至リニ不堪  
因テ此ノ度ビ  
於豊岡表  
假醫局相立候間  
治療可願出事

明治四年 豊岡縣醫局開設布告文  
本縣下ハ山陰山僻ナレバ  
常ニ世風ニ後レ  
文明ノ氣運ヲ吸收スル能ハズ  
不幸疾病ニ罹ルトキハ  
是ヲ保護スル衛生行届カズ  
非命ニ死スモノ不勘  
誠ニ愍然至リニ不堪  
因テ此ノ度ビ  
於豊岡表  
假醫局相立候間  
治療可願出事



「世風に後れ、衛生行き届かず、死すもの少なからず、、、」

この豊岡の地は都市部から離れたへき地で、治療が受けられずに亡くなる人が少なくない、そのような人々を救うために開設された、公立では日本で2番目に古い病院です。

豊岡病院の基本理念“但馬地域の基幹病院として、高度かつ最適な医療を安定的に提供し、地域住民の健康と生命を守り続けます“医療格差を解消する目的は、現在の理念にも引き継がれています。

豊岡病院はこれまでに財政的な危機、医師不足・看護師不足、平成16年台風23号による浸水被害などなど、様々な苦難を乗り越えながら、地域医療を守り続けて参りました。また、世紀の大プロジェクトであった豊岡病院の移転新築事業、その後のドクターヘリ・ドクターカー事業、周産期医療センター整備などを行い、但馬地域で唯一の高度急性期医療が提供できる施設としての機能充実を図って参りました。

そして、豊岡病院はこれからも先人の信念を引き継ぎ、当院の理念である“地域住民の健康と生命を守り続ける”ことを使命として、今後も取り組んで参ります。

2年目に突入したウイルスとの戦いに疲弊している職員も多くいますが、150周年の節目として、職員に対しては、当院の使命をあらためて認識する機会と捉え、そして将来に向けたメッセージも示していきたいと考えております。病院機能の充実と患者サービスの向上に努めて、地域の基幹病院として、また感染症指定医療機関としてその役割を引き続き担って参る所存です。

新型コロナウイルス感染症の終息が見えてこない中ではありますが、創立150周年の節目の年です。この1年をかけ創立150周年を作り上げて参りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。